

エステラ・フィンチ評伝

日本陸海軍人伝道に捧げた生涯

海野涼子 (マザーオブヨコスカ顕彰会代表) 著

四六判ソフトカバー360頁 本体 2,400円 ISBN978-4-8295-0834-3



エステラ・フィンチ
日本名・星田光代
(1869-1924)

米国生まれ、神学校卒業後、婦人宣教師に。24歳で初来日し日本各地で伝道活動。29歳の再来日後、横須賀に「日本陸海軍人伝道義会」を設立。日本に帰化し、軍人伝道に生涯を捧げた。55歳で逝去。

キリスト教伝道のために単身来日し、
陸海軍人への伝道に生涯を捧げた女性宣教師がいた！

†エステラ・フィンチは明治26年初来日し全国各地で伝道。29歳で再来日後、黒田惟信牧師(著者の祖父)と共に、横須賀に「日本陸海軍人伝道義会」を設立。海軍機関学校生徒をはじめ多くの陸海軍人がこの教会に通った。40歳の時日本に帰化し「星田光代」となり、55歳で逝去するまで伝道活動を続けた。

†エステラ・フィンチと、彼女を陰で支え最後まで信頼すべきパートナーとなった黒田惟信の足跡、マザー・フィンチを慕った“ボーイズ”たちの回想、軍人伝道年表など充実した内容



エステラ・フィンチと黒田惟信両師と海軍機関学校のボーイズ達(明治32年)



星田光代・黒田惟信両師の墓所
(横須賀市・曹源寺)

エステラの日記「祈りの記録」など新しい資料を発掘し「軍人伝道」の全容を初めて明らかにする

- 第1章 来日前のエステラ・フィンチ
- 第2章 手探りで始めた日本伝道
- 第3章 陸海軍人伝道への強い思い
- 第4章 日本人「星田光代」の献身的愛の秘密

【参考資料】

- 1 ボーイズ証言・足跡など一海軍機関学校を中心に一
- 2 星田光代(旧姓アイダ・エステラ・フィンチ)年譜
- 3 伝道義会及び関係者等年譜
- 4 軍人伝道に関する130年略史(1868~1996)

海野涼子 (うみのりょうこ)

マザーオブヨコスカ顕彰会代表。久里浜教会々員。横浜プロテスタント史研究会々員。1938年、千葉愛爾・幾代の次女として神奈川県横須賀市若松町43番地の旧伝道義会之家に生まれる。清泉女学院卒。ワシントンDC.の在米大使館防衛駐在官となった夫に同伴し4年間(1977~1982)同地に在住。祖父はエステラ・フィンチと共に伝道義会を設立した黒田惟信。父千葉愛爾は元海軍大佐で旧伝道義会々員、戦後牧師となりペリー上陸の地、久里浜に日本基督教団久里浜教会を設立、1952~1986年まで34年間85歳で没するまで初代牧師として務めた。著書:『輝ける星の如くに一エステラ・フィンチの遺徳を偲んで』(編著、マザーオブヨコスカ顕彰会、2007年)、『横浜の女性宣教師たち一開港から戦後復興の足跡』(共著、有隣堂、2018年)。

4月下旬 新刊搬入予定です

配本部数申込締切は 4月6日(水) です

FAX 03-3813-4615

芙蓉書房出版

〒113-0033
東京都文京区本郷3-3-13
http://www.fuyoshobo.co.jp
TEL. 03-3813-4466
FAX. 03-3813-4615

発行 芙蓉書房出版	注文数	注文者
エステラ・フィンチ評伝		
4月新刊 本体 2,400円	部	